

Camponotus nicobarensis

Mayr, 1865

ニコバレススオオアリ

アジアにすむ適応力が高く成長の速いオオアリで、おもに夜に採餌し、冬の休息を必要としません。



写真：portoid, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
22-28 °C
巣の中



巣の湿度
50-70 %
巣の中



休眠
不要



結婚飛行
3月 - 6月



働きアリ
5-8 mm
大型働きアリは最大12 mm



女王
14-16 mm
女王は1匹



コロニーの規模
働きアリ10,000匹規模
成長速度：とても速い



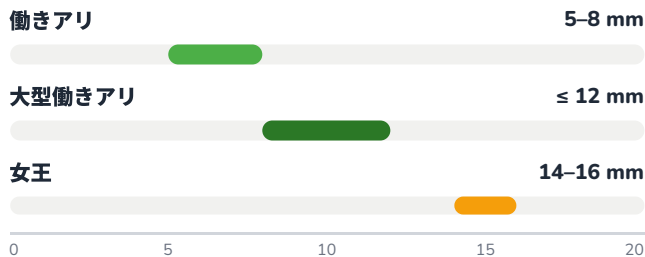
脱走リスク
高い
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 木製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 成長がとても速く、たんぱく質と広いスペースがたくさん必要です
- ⚠ コロニーが巨大になるため、広げられる余裕が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

砂糖は、むき出しの滴ではなく、綿に含ませたシロップや砂糖水、またはフィーダーで与えましょう。働きアリが滴の中を走り抜けて貼りつき、おぼれてしまい、ある飼育者はそれで何匹も失いました。好みはコロニーによって違い、ふつうの砂糖水は無視して転化糖シロップが大好きなコロニーもいたので、1つ拒否されたら2つ目の甘い餌を試してください。

注意

登るアリとして扱ってください。働きアリがガラスを歩いて登り、ジャンプまでするという報告が飼育者から寄せられています。パラフィンオイルやFluonのようなバリアをつけたびったり閉まる蓋を使い、すべてのすき間をふさぎましょう。Ytong製の巣とガラスのすき間に挟まって死んだアリもいたためです。